

- 問1 1859年の開港後、幕末の日本国内では生糸や米などの物価が急激に上昇し、庶民の生活が圧迫されました。このような事態を招いた直接的な原因として、当時の流通の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- 幕府が外国との戦争に備えるため、生糸や米などの主要な物資をすべて買い上げ、輸出を禁止したため
 - 貿易商人が輸出用の商品を確保するために国内産品を買い占め、国内市場で品不足が発生したため
 - 海外から大量の金が入流したことで国内の貨幣価値が相対的に上がり、物価のバランスが崩れたため
 - 外国から安価な綿製品が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業が衰退し生産が止まったため
- 問2 1858年に結ばれた日米修好通商条約は、日本にとって不平等な内容を含んでいました。その不平等な点についての説明として正しいものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- 日本がアメリカから「最恵国待遇」を一方向的に受ける代わりに、アメリカにのみ自由な貿易拠点としての港を提供した。
 - 日本がアメリカに対して領事裁判権を行使できる一方で、アメリカ側に輸出入の関税を決定する権利を認めた。
 - 日本がアメリカ人の犯罪を日本の法律で裁く権利を確立したが、日本国内の関税をアメリカの同意なしに変更できなかった。
 - 外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権」を認め、日本に「関税自主権」がなかった。
- 問3 18世紀後半、北アメリカの13植民地がイギリス本国からの重税に対して抵抗した際に掲げた、植民地側の主張を端的に表した言葉として適切なものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- 自由・平等・友愛
 - パンと平和
 - 鉄血政策
 - 代表なくして課税なし
- 問4 1858年、江戸幕府の老老である井伊直弼が、朝廷の許可（勅許）を得ないままアメリカと結んだ条約について、その内容と性質を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等な内容であった。
 - イギリスとの軍事同盟を結び、ロシアの南下政策に対抗することを目的とした。
 - 下田と箱館の2港を開港し、アメリカ船に食料や石炭を供給することを約束した。
 - 日本が清の独立を承認し、領事裁判権を相互に認め合う対等な内容であった。
- 問5 19世紀後半のアメリカ合衆国では、貿易政策や奴隷制をめぐる国内が二分されました。この対立から発展した南北戦争の最中に、第十六代大統領として「奴隷解放宣言」を出し、最終的に北部の勝利へと導いて合衆国の統一を維持した人物は誰ですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- セオドア・ルーズベルト
 - ジョン・F・ケネディ
 - リンカン
 - ジョージ・ワシントン
- 問6 幕末から明治へと時代が移り変わるなかで確立された、天皇一代につき一つの元号を用いるという制度の名称として正しいものを選択してください。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- 一世一元の制
 - 公事方御定書
 - 官位十二階
 - 版籍奉還
- 問7 1854年に結ばれた日米和親条約と、1858年に結ばれた日米修好通商条約の大きな違いについて、「開国」という視点から正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- 日米和親条約は長崎の1港のみに限定した「開国」であり、日米修好通商条約は全国の港を対象とした「開国」である。
 - 日米和親条約はイギリスやロシアに対抗するための「開国」であり、日米修好通商条約はアメリカ1国のみを対象とした「開国」である。
 - 日米和親条約は朝廷の許可を得た「開国」であり、日米修好通商条約は幕府が独断で行った「開国」である。
 - 日米和親条約は船の寄港を認める「開国」であり、日米修好通商条約は本格的な商業取引を認める「開国」である。
- 問8 18世紀後半のイギリスにおいて、ワットによる蒸気機関の改良などをきっかけに、手工業から機械を用いた工場での大量生産へと移行し、産業や社会の仕組みが劇的に変化した出来事を何というか、名称を答えなさい。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- 宗教改革
 - 産業革命
 - 農業革命
 - 市民革命
- 問9 1860年代の日本の貿易状況をまとめた資料によると、輸出額の約8割を特定の品目が占める一方で、貿易開始後の物価指数は急激な右肩上がりの傾向を示しています。この資料が示している当時の経済状況の説明として、正しい用語の組み合わせを選びなさい。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- 主力輸出品：生糸、発生した現象：物価騰貴
 - 主力輸出品：綿織物、発生した現象：物価騰貴
 - 主力輸出品：茶、現象：殖産興業
 - 主力輸出品：生糸、発生した現象：デフレーション
- 問10 1860年代の横浜港における貿易品目の特徴と、当時の貿易収支の状況について説明した文として、正しいものはどれですか。なお、当時の横浜港では、ある品目が輸出の65.1%を占め、別の品目が輸入の52.8%を占めていました。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸入額が輸出額を上回る輸入超過の状態であった。
 - 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。
 - 輸出品は茶、輸入品は武器が中心であり、輸入額が輸出額を上回る輸入超過の状態であった。
 - 輸出品は綿織物、輸入品は生糸が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。
- 問11 幕末の社会混乱を描いた資料の中には、人々が「ええじゃないか」と唱えながら町々を熱狂的に踊り歩く姿が記録されています。この騒動の背景と特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- 社会の仕組みの変革を求める民衆の期待と、先行きの見えない不安が入り混じった世直しの動きの一つであった。
 - 明治政府が推進した文明開化の政策を歓迎し、新しい文化を受け入れるために民衆が自発的に始めた祝祭であった。
 - 廃藩置県によって自分の領地がなくなることに反対した武士たちが、農民を扇動して起こした政治的な反乱であった。
 - 鎖国体制を維持しようとする江戸幕府を支持するために、都市の住民が攘夷の決意を固める目的で行ったデモ活動であった。
- 問12 1858年の条約締結後に本格的な貿易が始まると、日本の社会経済には大きな変化が生じました。当時の貿易の状況を説明した文として正しいものを選んでください。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- 神戸が最大の貿易港となり、鉄鋼が最大の輸入商品であった
 - 横浜が最大の貿易港となり、生糸が最大の輸出商品であった
 - 長崎が最大の貿易港となり、茶が最大の輸入商品であった
 - 函館が最大の貿易港となり、綿織物が最大の輸出商品であった
- 問13 19世紀半ば、イギリスから清（中国）へ大量のアヘンが密輸出されていたことを発端として、清がアヘンの取り締まりを強化したことで発生した戦争は何か、次の中から選びなさい。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- 義和団事件
 - 日清戦争
 - 太平天国の乱
 - アヘン戦争